

南アルプストンネル新設（山梨工区）早川非常口工事施工ヤードからの 浸潤水流出について

2025年7月17日（木）1時30分頃、中央新幹線南アルプストンネル新設（山梨工区）工事の早川非常口工事施工ヤード内に設置している浸潤水（※）水槽から自然由来の重金属等の基準値を超えた可能性のある浸潤水が溢れ、早川へ流出していることを確認しました。なお本状況を確認後、速やかに流出防止処置を行い、以降のヤード外への浸潤水の流出は発生していません。

※浸潤水：工事施工ヤード内に設けた土砂ピットに、自然由来重金属等の濃度を調査するために一時的に仮置くトンネル掘削発生土に、雨水等が触れ、浸み出てきた水をさします。ピット内に浸み出た浸潤水はポンプにより浸潤水水槽に送水・回収し、この浸潤水についても自然由来重金属等の濃度を調査して適切に処分します。

1. 発生日時

2025年7月17日（木）1時30分頃（流出状況を確認した日時）

2. 発生場所

中央新幹線南アルプストンネル新設（山梨工区）早川非常口工事施工ヤード内
※別紙1参照（住所：山梨県南巨摩郡早川町）

3. 施工会社

中央新幹線南アルプストンネル新設（山梨工区）工事共同企業体
（構成員 大成建設・佐藤工業・銭高組）

4. 原因

- ・土砂ピットから水槽へ浸潤水を送水するポンプの停止操作が出来ておらず、排水基準に適合していない可能性のある浸潤水が浸潤水水槽から溢れ出て河川へ流出しました。

5. 備考

- ・7月16日（水）18時頃に浸潤水水槽を点検した際は、漏れ等の異常がないことを確認しています。その後、流出状況を確認するまでの最大7時間程度の間に水槽が満水となり、水槽から溢れた浸潤水が早川へ流出しました。流出した浸潤水は7m³程度と推定しています。
- ・流出確認後の7月17日（木）に浸潤水水槽内に残されていた浸潤水について実施した水質調査結果は別紙2に示すとおりであり、水素イオン濃度(pH)、六価ク

ロムが排水基準に適合していませんでした。

- ・ 早川への流出後にヤードの上流側および下流側で早川河川水の水質調査を実施し、上下流で調査結果に大きな差異はありませんでした。また、浮遊物質量（SS）を除き、環境基準等を下回っています。浮遊物質量（SS）については、大雨の影響と推定しています。

※ 7月18日（金）には、山梨県にて、流出先である早川の河川水（上下流2地点）を採水し、六価クロム濃度を分析しましたが、いずれの地点でも環境基準値を下回りました。

地点	結果（mg/L）	環境基準値
ヤード上流	<0.01	0.02mg/L
ヤード下流	<0.01	

<山梨県プレスリリース資料（令和7年7月22日）より>

- ・ 今回の事象を受け、既にポンプの稼働状況の確認の頻度を増やすことや、自動で土砂ピット内のポンプが停止する設備を設ける等の対策について実施しており、これらの対策については、施工会社より山梨県にご報告しました。また、中央新幹線の他の工事箇所においても同様の事象が起きないよう、今回の事象概要を展開し、注意喚起を図っています。

6. 静岡工区の状況

- ・ 静岡工区についても工事施工ヤード内に土砂ピット等の設置を計画していますので、同様の事象が発生しないように、今後、静岡工区の工事計画等を精査してまいります。